

保護者の皆様

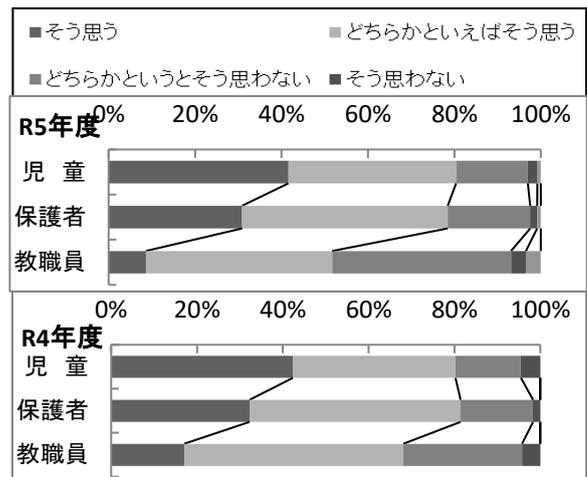
日進市立南小学校長 長谷川 厚

## 学校評価アンケート結果について（お知らせ）

日頃は、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。児童・保護者・教職員を対象に「学校評価アンケート」、「いじめに関するアンケート」を行いました。回答数は児童 500名（4～6年）、保護者 693名、教職員 58名でした。集計結果ならびに分析結果をお知らせします。グラフは上段が今年度、下段が昨年度の結果です。この結果を、よりよい学校づくりの資料とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

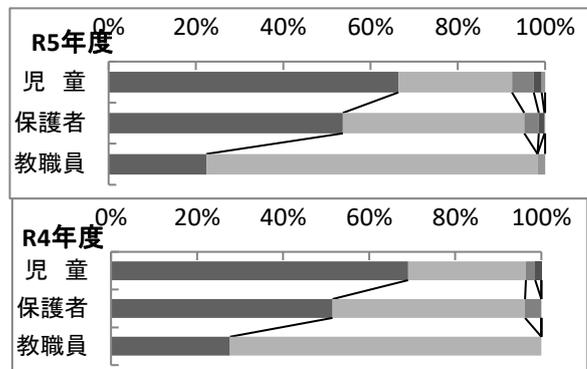
### 問1 友達や先生に進んで挨拶をしていますか。

今年度、南小学校は創立51年目を迎え「つなげよう次のステップへ」を合言葉に、活動しています。挨拶については毎朝、児童会役員や有志児童を中心に昇降口前で挨拶運動を実施しています。月に一度、「あいさつ強化週間」を設けてPTAや地域の方々にも参加していただきました。また、各地区の通学路で交通ボランティアの方々もご協力いただきました。肯定的回答は、児童・保護者は微増、教職員の割合が減っています。現状に満足せず、更に挨拶あふれる南小学校を目指していきたいと考えます。



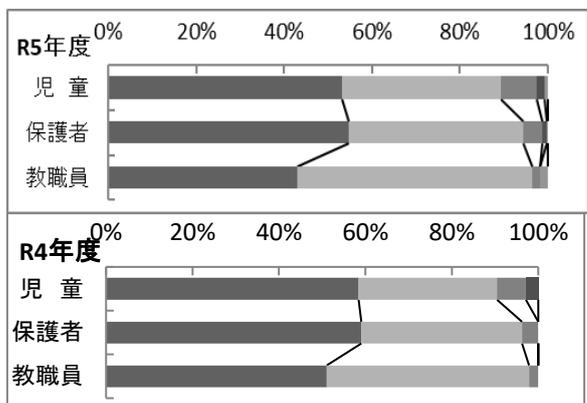
### 問2 学校で楽しく過ごしていますか。

児童・保護者・教職員は9割以上が肯定的回答をしています。コロナ禍による制約がなくなり、学校での教育活動や休み時間に友達と思う存分楽しんでいる児童が多かったようです。保護者も肯定的回答が増えています。運動会や学習発表会、授業参観など、学校での子どもたちの様子を、じっくり見ていただく機会が増えたからではないかと思えます。



### 問3 学校の行事に一生懸命に取り組んでいますか。

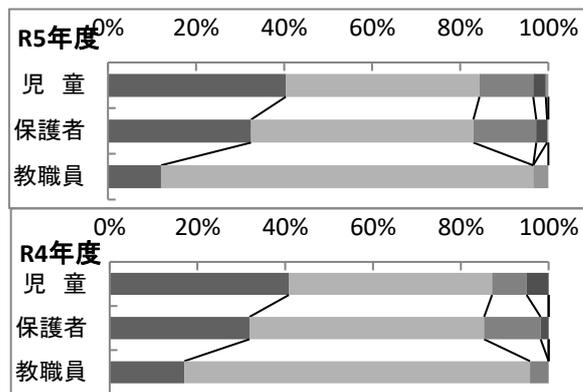
コロナ禍、50周年という二つの節目を経て、南小の活動も見直しの時期にきています。持続可能で更に千人規模の学校のできる形を目指しています。運動会、学習発表会など、どの行事も大いに盛り上がりました。それが、アンケート結果の肯定的回答の上昇につながっていると考えます。どんな行事にも素直に全力で取り組める南っ子は素晴らしいです。



#### 問4 学習に一生懸命に取り組んでいますか。

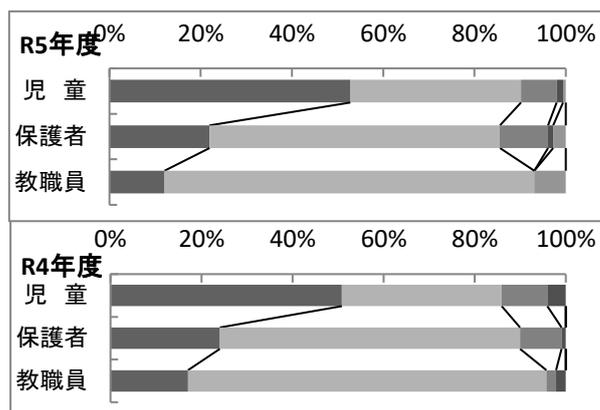
肯定的回答をした児童・保護者は8割、教職員は9割を超えていて、学校では学習に意欲的に取り組んでいることがうかがわれます。しかし、保護者・児童の結果は少しですが意識が下がっているように感じられます。ゲームやSNSに充てる時間が依然として多くとられているからではないかと考えます。

学校でも家庭でも主体的に学習に取り組める意識をもたせていきたいと思います。



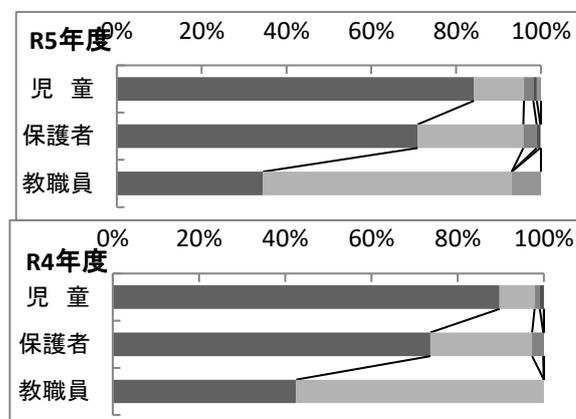
#### 問5 学校の授業は分かりやすいですか。

教職員への質問は「分かりやすい授業をしていますか」です。全ての教職員が分かりやすい授業を目指し、年間一人1回以上の研究授業を実施し、その後、研究協議会を開いています。今年度はタブレット端末を用いた授業展開について研修・実践を重ねてきました。児童・教職員の肯定的回答は9割以上、保護者は8割5分以上となっています。今後も児童にとって「授業が分かる」「学校が楽しい」という意識につなげるため、ICT機器を取り入れるだけでなく、より分かりやすい授業を目指して努力していきたいと思います。



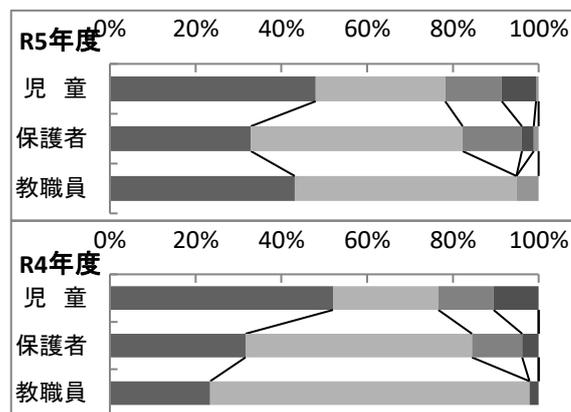
#### 問6 学校に、遊んだり話したりする友達がいますか。

児童・保護者の9割5分以上が肯定的回答をしています。授業や休み時間に楽しく友達と交流する様子を多く目にします。また、今年もいろいろな学校行事が学年・学級の絆を深めることができました。教職員の肯定的回答が少し減っています。学級の中には友達と遊ぶことが苦手な児童もいるので、その相談や対応をすることがやや増えたことが関係していると思われます。今後も児童全ての南っ子にとって、学校や学級が楽しく安心でき、落ち着ける場所となるよう努めていきます。



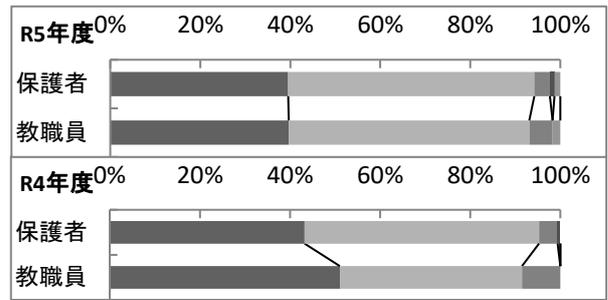
#### 問7 困ったときに相談できる先生がいますか。

教職員への質問は「子どもが困ったときに相談できるように配慮している」です。保護者・教職員のいずれも8割以上が肯定的回答です。児童の回答は昨年度よりやや上がってはいますが8割には届きませんでした。また、否定的な回答もあるため、日常の観察をより丁寧に行い、児童の心に寄り添った指導をしていくように努めます。日頃の学級経営や教育相談等によって、教職員と児童の信頼関係を今後も構築していきたいです。



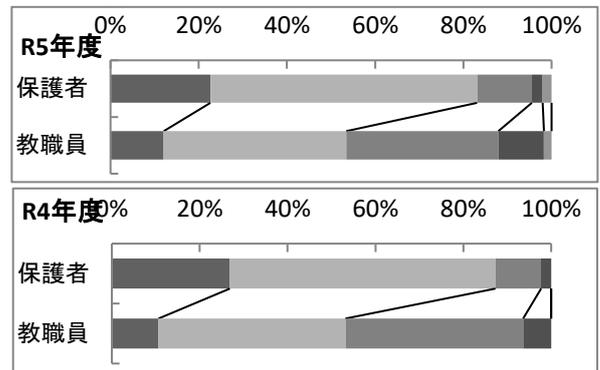
**問8 学校は、子どもが安全な学校生活を過ごせるよう努めている。**

保護者・教職員ともに約9割以上が肯定的回答です。保健委員や生活委員の呼び掛けなどにより、廊下や教室内での事故・けがを減らす努力もしています。救急搬送は昨年度に比べ随分減ってきました。避難訓練等の学校行事も併せ、こういった活動をコードモン等で周知し、ご家庭でも「命や身体を守る」ことについて声がけをお願いしています。安心して子どもを学校に通わせられる保護者・安心して通える児童・安全な環境を整える努力をする教職員が増えるよう努力していきます。



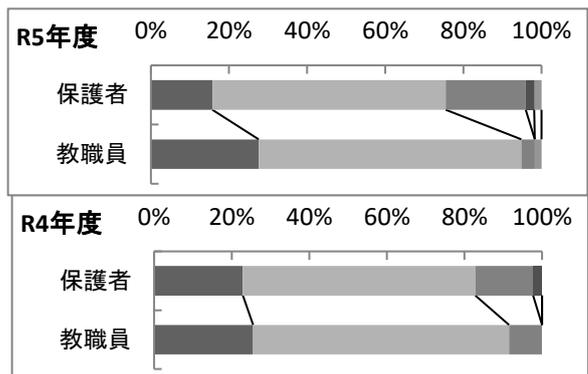
**問9 施設・設備は子どもが生活しやすいように整備されている。**

肯定的回答は保護者が8割を越えています。昨年度より低くなっています。また、教職員の肯定的回答は50%を越えたところです。校内電灯のLED化や特別教室のエアコン設置等で学習する環境が整えられています。2学級増の教室改修工事に伴い、教材室も整備されました。面談室ができたので、スクールカウンセラー面談や教育相談の場所が増え、落ち着いて相談活動ができています。しかし、児童数が多い関係で、特別教室などの使用が制限されたり、トイレの数が不足していたりして児童には不便をかけています。運動場に降りるための傾斜の急な階段も整備・改修が望まれるところです。今後も施設・設備面の改善に向けて、継続して市当局にも働き掛けていきます。



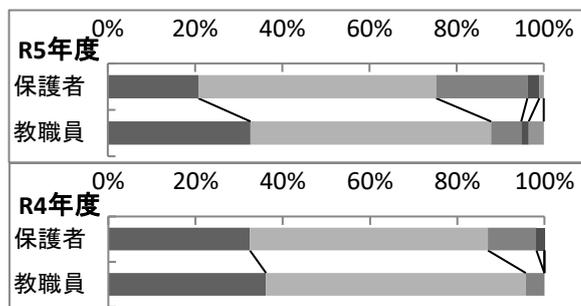
**問10 学校は、教育方針や経営方針を分かりやすく伝えている。**

保護者の肯定的回答は約7割で昨年度より低くなっています。学校からの連絡や案内のほとんどはコードモンで行っています。「コードモンの連絡が多く、なかなか見られないこともある」という否定的な声も届いており、回答に反映されたと考えられます。対して教職員の肯定的回答は9割を越えています。コードモンは履歴を見ればいつでも情報を確認でき、重要な情報は同時にHPにもアップしています。今後もペーパーレス化を促進していきますので保護者の皆様にもご理解・ご協力をお願いしたいです。HPには学校紹介・入学説明会要項に教育方針・経営方針の概要が記載され学校の考えや方針を示しています。全ての保護者が閲覧しやすい、分かりやすいHPを目指していきます。



**問 11 各種便りで子どもの様子がよく伝わるように工夫している。**

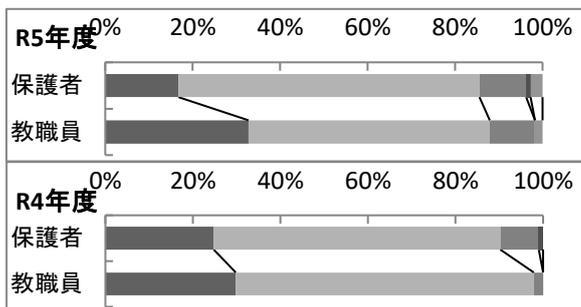
「そう思う」と回答した保護者が、少し減りました。これは問 10 と同様な理由が考えられます。しかしながら「保健だより」「学年だより」今後もホームページやコドモンの充実など、情報発信の方法を工夫していきます。紙で配付していたものをHPの「学校からのお便り」でお知らせし、ペーパーレスにもつなげていきます。



【以下はいじめに関する質問項目です。】

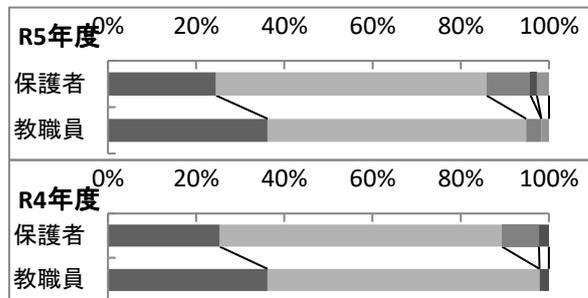
**問 12 異学年交流活動、挨拶週間など、子ども同士の関わりを大切にし、いじめのない温かな学校づくりに努めている。**

保護者・教職員ともに肯定的回答割合が高いです。児童会・委員会が企画したイベントも増え、安全・安心を最優先に考えながら、子ども同士が関わる活動を工夫して行ってきた結果だと考えます。コロナ禍による制約がなくなり 50 周年も過ぎた今年度、様々な行事の在り方を、教職員と児童と一緒に考えています。安心・安全と「学び」を両立させながら、いじめのない温かな学校づくりに努めていきたいと考えています。



**問 13 子どものよさや頑張りをほめ、楽しく分かりやすい授業づくりに努めている。**

保護者の肯定的回答割合が昨年度を下回っているものの高い割合となっています。教職員は「授業は教師の命」を合言葉にして、今年度も授業研究に力を入れてきました。教職員の「そう思う」が増えたのは、現状に満足しない向上心の表れとも捉えることができます。今後も、学校生活で最も長い時間を占める授業で、児童の自己肯定感を高める実践を行っていきたいと考えています。



**問 14 いじめに関する子どもや保護者の相談や悩みなどに対し、適切に対応している。**

担任は教育相談等で、児童の心に寄り添いながら、いじめの未然防止・早期発見に努めています。また、担任や教頭が保護者からの相談に真摯に耳を傾けてきました。近年、スマホの LINE 等、SNS 関連の問題が低年齢化しており、家庭・学校でのネットモラル教育の必要性が増しています。今後も、児童・保護者、地域の方々からの相談や悩みに対して誠実に対応していきたいと考えています。

